

# 令和4年度 都立足立西高等学校 学校運営連絡協議会報告

## 1 組織

- (1) 都立足立西高等学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成  
副校長、教務主任、生徒主任、進路指導主任 総務主任 事務局長 計6名
- (3) 校内委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生徒主任、進路指導主任 総務主任 計7名
- (4) 協議委員の構成  
区立小学校長、区立中学校長、PTA会長、警察署少年係長、消防署出張所長、地域民間企業代表、元PTA会長、同窓会代表、公的機関代表、教育関連機関代表 計10名

## 2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年6月22日（水） 校内委員7名、協議委員6名  
協議委員依嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営計画、昨年度学校評価結果の活用、本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和4年10月26日（水） 校内委員7名、協議委員2名  
教育活動の現状と課題（報告）、生徒募集対策説明、地域との連携協力の在り方、学校評価の内容検討、意見交換
  - 第3回 令和5年3月8日（水） 校内委員7名、協議委員4名  
学校評価アンケート実施について、各分掌からの報告、質疑応答、意見交換
- 第1回 令和4年10月26日（水） 本校校長室、内部委員2名、評価委員2名  
委員長選出、評価の観点、基本方針の確認、評価内容・項目等の協議・決定、実施時期の決定
- 第2回 令和5年3月8日（水） 校内委員7名、協議委員4名  
学校評価アンケート実施について、各分掌からの報告、質疑応答、意見交換

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点  
「教育活動の充実」「学校運営への理解」「学校への期待」の観点で実施する。  
また、教員の「働き方改革」について保護者及び、教員への質問項目を加えた。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・令和5年1月21日～1月31日 全校生徒 対象：574人 回収：429人 回収率：74.7%
  - ・令和4年12月13日～令和4年1月11日 保護者全員 対象：574人  
回収：169人 回収率：29.4%
  - ・令和4年11月26日～令和4年1月11日 協議委員 対象：9人  
回収：5人 回収率：55.6%
  - ・令和4年1月21日～1月31日 教員 対象：39人 回収：35人 回収率：89.7%
- (3) 主な評価項目  
教員の働き方、学習指導、生活指導、進路指導、学校行事、生徒会・委員会活動、部活動、健康・安全指導、美化活動、地域社会への貢献、保護者との連携、家庭・地域への情報発信  
・今年度の重点：学習指導、部活動
- (4) 評価結果の概要と考察
  - ① 回収率  
昨年の反省点からアンケートをマークシート方式に戻したが、回収率を上げるのはかなわなかった。Formsによるアンケートに戻し、回収率を下げない方法を考えたい。

### 【学校運営連絡協議会 協議委員からの回答】

- 1 生徒は明るい学校生活を送っている。肯定評価 86%
- 2 生徒は基本的な生活習慣（頭髪、服装、言葉づかい等）を身に付けている。  
肯定評価 71%
- 3 生徒は社会の基本的ルールを守って行動している。 肯定評価 57%
- 4 生徒は部活動や生徒会活動に熱心に取り組んでいる。 肯定評価 57%
- 5 ボランティア活動（老人ホームや保育園訪問等）に熱心に取り組んでいる。

肯定評価 57%

- 6 本校は体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。 肯定評価 86%
  - 7 本校は地域社会の活動に協力している。 肯定評価 71%
  - 8 学校のPR（行事を含む教育活動）が適切になされている。 肯定評価 57%
  - 9 本校は環境整備や美化活動に熱心に取り組んでいる。 肯定評価 67%
  - 10 本校は他校にない特色ある教育活動を実施している。 肯定評価 43%
  - 11 電話、面接等の対応がよい。（教員） 肯定評価 100%
  - 12 電話、窓口等の対応がよい。（経営企画室） 肯定評価 43%
  - 13 地域の意見や要望が教育活動に反映されている。 肯定評価 86%
  - 14 学校が良くなった。 肯定評価 57%
- 高評価をいただいた項目が多い。今後とも情報の発信や目に見える活動に取り組んでいく。

【学校運営連絡協議会 評価委員会からの学校への提言】

- ① 部活動の充実・活性化
- ② 高大連携を見据えたキャリア教育のより一層の推進
- ③ 地域・家庭及び中学生への情報発信の充実

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
  - ・学校運営連絡協議会協議委員の方々に、教育活動を理解していただき、率直な意見を頂くことができ、今後の課題を明確にすることができた。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった成果と課題
  - ・キャリア教育の充実による、多様な進路希望に対応する基盤をつくることができつつある。
  - ・地域からの評価が高くなり、近隣の中学校からの受検が増加している。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- (1) 学校運営
  - ・昨年度同様保護者に対し、本校の教育方針や教育活動をホームページを活用し、理解、協力を得る。
  - ・行事や部活動の活性化を推進する。
  - ・保護者会、三者面談の機会を通じ、保護者との連携、協力体制を活性化させる。
- (2) 学習指導
  - ・長期休業日中や週休日、早朝、放課後等の補習の充実を図る。
  - ・基礎学力の定着と大学進学に対応できる学力を育成するため、外部模試での定点調査をもとに、習熟度別授業や少人数授業の実施方法・内容等について検証し改善を図る。
  - ・図書館利用を推進し、読書する習慣を身につける。
- (3) 生活指導
  - ・全教職員が共通理解をもち、毅然とした態度で生活指導にあたる。
  - ・朝の正門指導による頭髮・服装指導の継続、遅刻防止への取り組みを実施し、落ち着いた学校生活の環境づくりを行う。
  - ・自転車事故0を目指し、充実した交通安全指導を行う。特に、雨天時の自転車通学者には、傘さし運転を撲滅しレインコートを着用させることを徹底する。
- (4) 進路指導
  - ・進路情報を保護者会やPTA役員会、HPで提供する。
  - ・教科と連携し、生徒に対して資格検定試験の重要性を説き、全員受検を視野に入れ、強力で推進する。
  - ・2年次で希望進路設定を実施し、3年生で適切な指導を行う。
  - ・各学期末のキャリアウィークを生徒の実態、進路先に合った内容に精選する。
  - ・インターンシップの事前・指導事後指導を徹底し、就業に対しての意識づけを高め、進路目標を設定させ、実現を支援する。
  - ・大学進学等進路に関する情報収集と生徒・保護者に進路情報の提供と指導を行い、将来を見据え、安易な進路選択にならないように指導を行う。
  - ・就職希望者には試験に対する準備を周到に行わせる指導を行う。
  - ・教科と連携し、基礎学力の定着を図る。
- (5) 特別活動
  - ・部活動体験入部期間の設定、1年生全員入部で部活動加入のきっかけとし、年度末加入率を上げる。

- ・ ボランティア登録制度と、足立区や地域、警察消防や老人ホーム、保育園との連携により、さらなる地域貢献の機会を増やす。
- (6) 健康・安全 ←生活指導主任
- ・ 交通安全指導を充実させ、生徒の殆どを占める自転車通学の安全を向上させる。
  - ・ セーフティ教室、防災訓練の実施により生徒の安全、防災意識の向上に努める。
  - ・ スクールカウンセラーの活用により、教育相談のさらなる充実をはかる。

## 6 「学校が良くなった」と考える外部委員の割合

- (1) 協議委員人数 10人 (アンケート7名提出)  
 (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の%

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまり思わない	わからない
14%	14%	14%	14%	29%

## 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- 【実績】・ 職員会議 0回 ・ 企画調整会議 0回  
 【成果】・ 協議会では、各分掌と協議委員の意見交換が活発にできた。

## 8 その他

- ・ 協議委員の選出について、地域のご意見を本校の教育活動に生かしていくため、関係機関へのご協力を依頼する。